

当院で CT 検査を施行された患者様へ

研究課題名:下顎前突症患者における下顎枝矢状分割術後の知覚異常の予測

研究組織:九州歯科大学 歯科放射線学分野

研究代表者:九州歯科大学 歯科放射線学分野 小田昌史

研究の意義・目的:

下顎枝矢状分割術 (SSRO) は今日世界的に最も行われている顎矯正手術の 1 つです。その一方で術後の下唇や顎先の痺れは依然として高頻度で出現しています。

今回の研究では手術前の CT 画像の特徴を解析し、術後に麻痺が現れた患者と現れなかった患者で比較します。これにより、術前の CT 検査で、術後の麻痺のリスクの程度を予測することができるようになることが期待されます。これにより、リスクの高い患者に対して治療方法の選択や介入方法を工夫することが可能となります。そして SSRO の安全性向上と、今後の SSRO におけるリスク管理に貢献することが期待されます。

当該研究の方法:

2010 年以降に SSRO を施行した患者を対象とします。術前の CT 画像を利用し、テクスチャ解析 (画像の模様を数学的に解析し、数値化する画像解析手法) をおこないます。また合わせて、手術部位の骨の厚さや硬さなどについても CT 画像から計測します。さらに術後の知覚麻痺の程度を測定し、術前画像から測定した数値との関連性を検討します。これにより、術後の麻痺が出やすい患者の術前 CT 画像の特徴を統計学的に明らかにします。

得られた結果は、学術学会や専門学術誌において発表します。その際、個人情報を完全に保護した形とし、個人が特定されることは決してありません。診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ窓口:

研究責任者 小田昌史

九州歯科大学 歯科放射線学分野

〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴 2-6-1 Tel 093-285-3094

メールアドレス:r07oda(at)fa.kyu-dent.ac.jp

※ (at) は @ に置き換えてください。